

-あとがき-  
編集後記

(撮影・編集：奥津一樹)



5月とは思えない夏日が来たかと思えば、まだ寒かったり、エルニーニョ現象が懸念されているものの、冷夏にはならないのではという予測もあり、肌にしみて自然環境の激変を感じます。5月の連休には4年ぶりに完全復活した北條五代祭りがあり、以降イベントごと増えて来てきて西へ東へ慌ただしくも楽しく活動の現場へ足を運ばせていただいています。そのたびに自然との付き合い方の難しさを見て、私たちに出来ることを学ばせていただいています。なによりも人と人との交流が増えていることに喜びを感じます。会員の方々の失敗もおそれずに歩かれている姿を引き続き追いかけていきたいと思えます。



## おだわら環境志民ネットワーク

Odawara Environmental Citizen's Network

(事務局)

小田原市環境部環境政策課

電話：0465-33-1472

メール：ka-kansei@city.odawara.kanagawa.jp

### 今後の会員活動予定

イベント等の詳細・参加申し込み各種お問合せは各会員または事務局までお気軽に。

- 6月3日(土) 地球と子どもたちに明るい未来を残そう・プラごみゼロ チームおだわら【ビーチクリーン活動】@小田原海岸(御幸の浜・酒匂川河口右岸) 9:30-11:00
- 6月10日(土) おだわら竹あかりプロジェクト【アカリナイト in あじさい花菖蒲まつり】@小田原城東堀花菖蒲畑 10:00-20:00
- 6月11日(日) 地球と子どもたちに明るい未来を残そう【ビーチクリーン】@御幸の浜 8:00-9:00
- 6月28日(水) おだわら環境志民ネットワーク【第31回情報交換会】@小田原市役所またはオンライン会議システム zoom

## 各種SNS 日々更新中

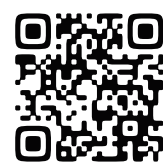
Homepage



Facebook



Instagram



youtube



LINE



おだわら環境志民ネットワーク会報誌

# Green Era

5

2023  
Odawara  
Environmental  
Citizen's  
Network

Vol.25

TEKE FREE

表紙：福田ひろみさん・國枝洋子さん  
(Team MAMMA MemmA!)

- 小田原の竹でメンマを作っちゃおうプロジェクト
- フィールドワークin富水地区
- 第59回北條五代祭り美化キャンペーン
- 理事会と総会、懇親会





▲樹木の中に堂々と侵入する幼竹

これまでは勝手に分からずにメンマに出来なかった竹もありましたが、今年は小田原流のメンマの形がすでに出来上がっているのです、ひたすら幼竹を煮込んで塩漬けにするという日々を追われています。

メンマ作りに最適なのは2mほどの幼竹で、それ以上伸びてしまうと堅くなり使えなくなってしまいます。この時期の竹は数日の間にグングンと生長してしまいます。メンバーのみなさんで手分けして空き時間を作ってはこまめに竹林へ足を運んでいます。



▲茹でられている幼竹（左）と、塩漬け作業をしている様子（右）



▲プロジェクトに参加されているみなさん

## Team MAMMA MemmA! 小田原の竹で メンマを作っちゃおうプロジェクト

4月20日(木)

春の訪れを告げたタケノコのシーズンが終わり、風祭の圃場では今シーズンのメンマ作りが始まりました。

まずは孟宗竹、そして真竹と続いて仕込んでいきます。プロジェクトが立ち上がって3年目となる今年。最初の年は立上げが夏だったことで情報収集だけにとどまり、昨年試行錯誤の末、初の小田原メンマが出来上がりました。



▲2023年版新パッケージ

### —今年の目標は？

『昨年度のイベント等でメンマが好評だったので、今年度はより多くの人に食べてもらいたいと思っています！それに伴って、スポットでも取り扱いしてもらえるお店を開拓したいと考えてます。また新しい味のメンマも開発したいと思っています！』

昨年、試食会や農業まつり、おだわらグリーンマルシェなどで試験販売を行ったところ、その味は大好評。国定勇人環境大臣政務官にも試食していただき、「市販のメンマと遜色なし!」とコメント(※)をいただきました。

今年版のパッケージも完成し、いよいよ全国に向けて荒廃竹林への取り組みが発信されていきます。まだ食べたことのない方はぜひお試しください。

(※)国定政務官ブログ「この地に尽くす!～国定勇人(くにさだいさと)の日記～」

<http://officekunisada.livedoor.blog/archives/18358650.html>



▲西島会長からの開会挨拶の様子



▲パレードコースをごみ拾いする参加者の様子(左)  
参加者へ進呈された、まごころカード(見本、右)

## いきものグループ フィールドワークin富水地区

5月14日(日)

おだわら環境志民ネットワークのそだてる事業として活動しているワーキングチーム「いきものグループ」では、子どもたちが気軽に生き物に触れることのできる環境づくりを目指して候補地となる富水地区の水路の周辺環境調査を始めています。水路本来の治水機能を損なうことなく、安全に遊ぶことができ、多くの生き物や植物にとっても住みやすい環境にするため、有識者と連携を図りながら進めています。



▲令和5年度総会の様子



▲総会後に開かれた懇親会の様子

## 小田原市環境ボランティア協会 第59回北條五代祭り美化キャンペーン

5月3日(水・祝)

今年は北条氏誕生500年の節目でもあり、コロナ禍を経て多くの来訪者の賑わいを前に、旭丘高校、三の丸小学校、二宮高校の児童・生徒さんやさがみ信用金庫さんなど会員の皆様約100名と一緒に、パレードの始まる前に、3班に分かれ、パレードコースを歩いての清掃活動を行いました。沿道をすれ違う方々からの激励に触れながら充実した活動を行えた一日でした。

また、参加された方にはその功績を称え、市より「まごころカード」の進呈がありました。



▲水路の周辺環境を見てまわるメンバーたち



▲水生生物を観察している様子

## おだわら環境志民ネットワーク 理事会と総会、懇親会

5月10日(水)・19日(金)

令和5年度第1回理事会と総会が行われました。皆様のご協力のもとスムーズに進行することができました。設立から8年目に突入したネットワークでは、これまで以上に会員相互の連携を図っていききたいと思います。

今年度は新たな取り組みとして都市部への積極的な広報・PR活動に加え、地域資源を価値化し地域循環共生圏の具体化に向けた基盤づくりを進めていききたいと思います。懇親会など肩ひじ張らない交流の場も積極的に設けて行きます。ぜひご参加をお願いします。